

## 愛媛支部

### 「みんなで交流会」



1月24日(土)、愛媛県視聴覚福祉センターで「みんなで交流会」を開催しました。ろう者や未会員の方も含めて31名が、サークルも地域も超えて、楽しく手話で交流しました。

まずは、みんなで輪になって自己紹介から。名前の他にもそれぞれ思い思いの一言を付け加えて、初めて会う人どうしもお互いのことを知ることができました。その後、グループ対抗でクイズやジェスチャーゲームをしながら親睦を

深めました。自分の健康や通訳活動にも役立つ「薬に関するクイズ」や、知っているようで意外と知らない「デフリンピックに関するクイズ」では、メンバーが協力しあって回答し、かなりの正答率でした。ジェスチャーゲームでは、先頭の人に出したお題を順に次の人に伝えていくうちに少しずつ違う動きになってしまい、アンカーは「???'という顔。見ている人もみんな大笑いでした。



当日は雪が心配されましたが、寒さも吹き飛ばすほどの盛り上がりようでした。また皆さんにお会いできる日が楽しみです。

### 香・通・研 なるほど講座 開催

## 香川支部



今年も2月1日(日)香川県聴覚障害者福祉センターにて、恒例の『なるほど講座』を開催しました。「なるほど、そうなんだ!」と思える学習会を目指し、午前の前半は、50周年記念誌を使って2024年度(全通研50周年記念時)の代議員による「クイズで学ぼう!全通研」をしました。クイズ形式で楽しみながら全通研や香通研について知ってもらうことができ、30年前の香川で開催された夏の集会の貴重な資料も見ることができました。当時関わった人たちは懐かしく感じ、新しい人たちは歴史に触れることができたようです。

午後の後半は、健康対策班による「頸肩腕障害って?」と「表情豊かになりましょう



~これであなたもスッキリ小顔に?!~」の2つのテーマでした。参加者全員で変顔をしながら、楽しくストレッチを学ぶことができ、眠っていた表情筋が目覚めました(笑)午後からは、全通研理事の中島みゆき氏をお迎えし「なるほど!!手話言語条例 今までとこれから 岡山・真庭」をテーマに、具体的な取り組みや条例制定後の状況等、今後の香川にとって大変役立つ内容を聞くことができ、条例の必要性を再確認しました。



# あさいと 誌

### 令和7年度最後の手話技術学習会

手話学習していると「きこえない人の手話ときこえる人の手話はどこが違うのかなあ」と日々悩むことがよくある。今回の学習会は【第3弾 きこえない人の手話表現を自分の手話表現にいかそう】のテーマ。きこえない人の動画を繰り返し見る(ひとりで表現しているのに複数の登場人物が誰が誰に話しているか、よくわかる)それはなぜなのだろう。動画を区切って何度も見て分析する。[体の向きは?][表情が変わっている(ロールシフト)][視線が][指差し]と気づきがでてくる。そして、登場人物の行動が『見える言葉』として表現されている。なるほど!そこで、次は文章を手話表現する。登場人物二人の会話がはずんでいる。さて、誰が誰に話しているかがわかる表現は。そして『見える言葉』に表現できたか。きこえない人の表現が自分の手話表現にいかせたか。課題はある。しかし、気づきはたくさんあった。そうそう、くり返しの学習、集団学習の中で他者の気づきが自分のものとなる。継続は力。みんなで高め合っていこう!!



## 高知支部

### 『2025年度徳通研を振り返る』

今年度は、デフリンピックやキャラバン活動に加え、3月に「徳島県手話言語条例」施行、6月には国の「手話施策推進法」施行、さらに9月23日の「徳島県手話の日」制定など、手話が大きく注目された一年でした。これらの取り組みは、常に徳聴協と連携して進めてきた成果だと思います。

さて徳通研では、年度末に組織部活動が活発に行われました。西組織部は「病院のわかり方」をテーマに健康講座を開催。南組織部は1day学習会で「災害時の健康管理」や災害時のトイレ問題を体験的に学びました。北組織部は「救急医療情報キット」についての学習会を、東組織部は「終活」をテーマに学習会を実施し、支部会員の学びを深めました。

組織の活性化により、学習機会が広がった一年となり、2026年は、会員とともに支部設立40周年を祝う年にしたいと思います。



## 徳島支部